

2011 年上半期（1-6 月）課税出荷数量ヘッドライン

1. 市場全体の概況

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル市場は、東日本大震災の影響もあり、マイナス（▲3.5%）。
- ◆ ビール市場は、マイナス（▲4.8%）。
- ◆ 発泡酒市場は、マイナス（▲12.5%）。
- ◆ 新ジャンル市場は、プラス（+3.2%）。構成比は 35.8%に。

2. キリン社概況

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル計は、市場同様にマイナス（▲4.2%）。
- ◆ ビール計は、市場同様にマイナス（▲5.1%）。
- ◆ 発泡酒計は、マイナス（▲8.2%）。
- ◆ 新ジャンル計は、プラス（+0.7%）。

《ビール・発泡酒・新ジャンル》

- 東日本大震災の影響もあり、市場同様にマイナス（▲4.2%）だったが、主力商品中心の製造体制を敷いた効果もあり、「のどごし〈生〉」「淡麗グリーンパベル」は拡大した。

《ビール》

- 「一番搾り」は、マイナス（▲2.0%）となったものの、市場平均（▲4.8%）を上回った。

《発泡酒》

- 「淡麗グリーンパベル」は、新テレビ CM の効果もあり、プラス（+2.6%）を達成。
- 発泡酒市場に占めるシェアは、上半期としては過去最大を記録。

《新ジャンル》

- 新ジャンルカテゴリで圧倒的な販売を誇る「のどごし〈生〉」が、2005 年の発売以来、上半期としては最大となる 2,155 万ケースの販売を記録。新ジャンル市場に占めるシェアも約 3 割を超えた。

※ 「一番搾り」「淡麗グリーンパベル」「のどごし〈生〉」の対前年比は販売数による

【参考】東日本大震災による市場全体への影響

- ビール・発泡酒・新ジャンル市場の 3 月は▲10.9%だったが、震災後の 4-6 月では▲5.1%とマイナス幅は縮小。特に新ジャンル市場については、3 月に▲13.8%と大幅マイナスだったが、4-6 月には+3.1%まで大幅に回復している。

以 上